

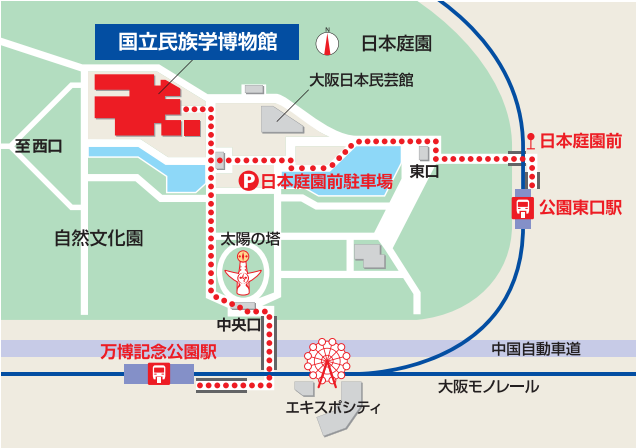
ご利用案内

開館時間 10:00～17:00（入館は16:30まで）
休 館 日 水曜日（水曜日が祝日の場合は翌日が休館）
年末年始（12／28～1／4）

観 覧 料	本館展示	特別展「交感する神と人―ヒンドゥー神像の世界」※ 特別展「日本の仮面―芸能と祭りの世界」※
一 般	580 (490)円	880 (600)円
大学生	250 (200)円	450 (250)円
高校生以下	無料	無料

※本館展示もご覧になれます。

- （ ）は、20名以上の団体料金、大学等の授業でご利用の方、3ヵ月以内のリピーター、満65歳以上の方の割引料金（要証明書）。
- 特別展「交感する神と人」および「日本の仮面」は20名以上の学校団体（大学）については、本館展示割引観覧料相当額（大学生200円）でご覧になれます。
- 障がい者手帳をお持ちの方は付添者1名とともに、無料で観覧できます。
- 大学生・一般の方は万博記念公園各ゲートで、当館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。
- 高校生以下の方、国立民族学博物館友の会会員の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんぱくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。
- 万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。



交通のご案内 ◎みんぱくは、大阪・万博記念公園内にあります。

○大阪モノレール…「万博記念公園駅」「公園東口駅」下車徒歩約15分

○バス…阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分

○乗用車…万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料) から徒歩約5分

○タクシー…万博記念公園「日本庭園前駐車場」まで乗り入れてきます。

お問い合わせ先 TEL.06-6876-2151 FAX.06-6875-0401

〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園10番1号 https://www.minpaku.ac.jp



この印刷物は、環境に配慮した用紙とインキを使用しています。

本館展示

国立民族学博物館（みんぱく）は、世界の人びとの暮らしや文化にふれることができる世界最大級の民族学博物館です。世界各地の衣食住に関わる生活用具や、儀礼や信仰に用いる道具などを展示しています。



ヨーロッパ展示



東南アジア展示



中国地域の文化展示



中央・北アジア展示

館内のご案内

探究ひろば 「リサーチデスク」「研究の現場から」「世界をさわる」の3つのコーナーをととして、みんぱくの研究や展示をより詳しく知ることができます。

ビデオテーク・みんぱくシアター 世界の人びとの儀礼や芸能、生活の様子などを記録した番組を、大型スクリーンや少人数用のブースで視聴できます。

みんぱく電子ガイド 展示物をみながら、映像と音声による解説が視聴できる、携帯型の展示解説装置を無料で貸し出しています。

みんぱく図書室（本館3階） 文化人類学・民族学関係の文献図書資料を所蔵しています。どなたでもご利用いただけます。
休室日：日曜日、祝日（土曜日を除く）、及びみんぱく休館日

ミュージアム・ショップ 世界各地の民芸品や文化人類学・民族学に関する書籍などを多彩に取り揃えています。TEL.06-6876-3112

森の洋食 グリルみんぱく 観覧の余韻に浸りながらゆっくりと本格的な洋食が楽しめます。
営業時間 11:00～16:30（ラストオーダー 16:00）
TEL.06-6310-0810



ミュージアム・ショップ



森の洋食 グリルみんぱく

国立民族学博物館友の会 家庭学術雑誌『季刊民族学』、友の会講演会、各種セミナーをととして多様な文化に関する情報をお届けします。
お問い合わせ先：公益財団法人千里文化財団 TEL.06-6877-8893

■みんぱくゼミナール 研究者が最新の研究成果をわかりやすく講演します
毎月第3土曜日13:30～15:00（開場13:00）
●場所：みんぱくインテリジェントホール（講堂）
●無料 ●事前申込制（先着順） ※講師・演題・開催場所は都合により変更する場合があります

第538回 10・21土 特別展関連

暮らしの中に現れる神がみ ―現代ヒンドゥー教徒の生活の場から

三尾 稔（本館 教授）

多彩な像に現れるヒンドゥー教の神がみは、願いをかなえる存在として人びとともに「生きて」います。神像が生活の場で用いられる姿を紹介し、現代ヒンドゥー教徒の暮らしや世界観に迫ります。



ガネーシャ神に食事を食べさせる（2012年）

第539回 11・18土 企画展関連

北アメリカ北西海岸地域の先住民アート―シルクスクリーン版画を中心に

岸上伸啓（本館 教授）

北アメリカ北西海岸地域に住む先住民は、トーテムポールを作るとともに、ポトラッチ儀礼をおこなうことで有名です。1960年頃に制作を開始したスクリーン版画を中心に彼らのアートについて紹介します。



F・ディーピング作の版画（1980年）

第540回 12・16土

「友よ、水になれ」―メディア化時代における身体知のゆくえ

相島葉月（本館 准教授）

ブルース・リーのカンフー映画が世界的な空手ブームを巻き起こしてから半世紀が経ちました。エジプト人空手家とのオンライン／オフラインの対話より、真に美しく強い身体について探求します。



在エジプト日本大使館主催の武道イベント（2015年）

第541回 1・20土

博物館の舞台裏―資料の保存を考える

園田直子（本館 教授）

博物館の舞台裏では、来館者にとっては安全で観覧しやすい、資料にとっては適切な展示・収蔵環境になるよう、さまざまな予防保存の活動がおこなわれています。ひとに、モノに、環境に「やさしい」資料の保存について考えます。



外から見ることができる収蔵庫（末森薫撮影、2018年）

第542回 2・17土

地球と文明―ホモ・サピエンス史からの展望

池谷和信（本館 教授）

現代は西洋文明が拡散して人びとの価値観が等質化しているといわれますが、古代より地球には複数の文明が併存してきました。ここではホモ・サピエンス史の視点から、食と農、美の追究、都市化などを例に、多様な文明の共存のあり方を探ります。



ガラスビーズ生産の中心地、ヴェネツィア（2023年）

第543回 3・16土 企画展関連

水俣病を伝える

永野三智（水俣病センター相恩社） 平井京之介（本館 教授）

熊本県の水俣・芦北地域では、NPOや行政により、水俣病の教訓を学び後世に伝えていく活動がおこなわれています。この活動を紹介したうえで、その意味と課題について考えてみたいと思います。



水俣病歴史考証館（2020年）

みんぱく
カレンダー

2023 2024
10-3
Oct. Mar.



■特別展 9・14木～12・5火

交感する神と人 ―ヒンドゥー神像の世界

ヒンドゥー教世界では神像には実際に神が宿るものとされます。人びとは五感を通じ像に宿る神と親しく交流します。本特別展では、さまざまなモノに現れる神がみの姿やそれらに働きかける人びとの営みを紹介し、神との交感を核とする信仰の世界に迫ります。



ドゥルガー女神

環境に配慮した
ガネーシャ像



クリシュナとラーダー

●特別展示館

■特別展 2024 3・28木～6・11火

日本の仮面 ―芸能と祭りの世界

国内各地では、仮面をつけた役が登場する芸能や祭りがおこなわれてきました。本展示では、仮面と人びとの多様なかわりについて紹介します。



メンドン (鹿児島県硫黄島)



獅子頭
(佐賀県)

儀礼の仮面
(沖縄県小浜島)

行道面
(釈迦)

能面
(不動)

大僧神楽の狂言面
(猿) (岩手県花巻市)

2023	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				

2023	日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	13	14	15	16	17	18
	19	20	21	22	23	24	25
	26	27	28	29	30		

2023	日	月	火	水	木	金	土
					1	2	
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30
	31						

2024	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5	6
	7	8	9	10	11	12	13
	14	15	16	17	18	19	20
	21	22	23	24	25	26	27
	28	29	30	31			

■企画展 9・7木～12・12火

カナダ北西海岸先住民のアート ―スクリーン版画の世界

北アメリカ北西海岸地域の先住民は、巨大なトーテムポールやカヌーを制作することで有名です。新しいアートをうちたてるために1960年代から神話や口頭伝承、事件などをモチーフとして版画制作を始めました。本展示では、北西海岸先住民のユニークな作品をとおして彼ら/彼女らの共生の世界観や体験してきた社会変化を紹介します。



ジークレー版画
「トゥルー・ジャート、カヌー女」



民博の新しいトーテムポール
ビル・ヘンダーソン作



スクリーン版画
「カエル」

関連イベント

ウィークエンド・サロン 9・10(日) 10・29(日) 11・26(日) 12・3(日)

ワークショップ 10・28(土) ペーパークラフトでトーテムポールをつくろう
11・25(土) カナダ北西海岸先住民のスクリーン版画に挑戦

みんぱくゼミナール 11・18(土) 北アメリカ北西海岸地域の先住民アート ―シルクスクリーン版画を中心に

■企画展 2024 3・14木～6・18火

水俣病を伝える

熊本県の水俣・芦北地域では、水俣病の教訓を学び後世に伝えていく活動がおこなわれています。本展示では、こうした活動の意味と課題を考えます。



水俣病を伝える朗読会

関連イベント

みんぱくゼミナール 3・16(土) 水俣病を伝える

ウィークエンド・サロン 3・24(日)

■みんぱく映画会

●場所:みんぱくインテリジェントホール(講堂)
●事前申込制(先着順) ●要展示観覧券

ガンジスに還る

11・3金・祝 13:30～16:00(開場13:00)

聖地ワラーナシー(ベナレス)で理想の「死」を待つ男性とその家族が織りなす人間ドラマを通じて、現代インドの人びとの死生観に迫ります。



© Red Carpet Moving Pictures

みんぱくワールドシネマ

「はちどり」

1・27土 13:30～16:15(開場13:00)

ソウルに暮らす14歳の少女ウニ。空虚な思いを抱えていた彼女の心の成長を、塾の新任教師ヨンジとの交流を軸に、繊細に描き出します。



©2018 EPIPHANY FILMS. All Rights Reserved.

みんぱく映像民族誌シアター

※13:30/14:00～16:00 (各回開始30分前開場)

※1・13土「津軽のカミサマ」 1・21日「千年の時を奏でる ―モロッコのアンダルシア音楽祭」

※2・18日「面打ち ―京都の能面師」

本館製作のDVD「みんぱく映像民族誌」シリーズから上の作品を劇場シアターセブン(大阪・十三)で上映し、監修者らと交えたトークをおこないます。オンラインでもご参加いただけます。



木偶人形の制作の様子

■公開講演会

依存するヒト ―民族・国家・嗜好品

11・10金 18:30～20:40(開場17:30)

●場所:日経ホール(東京) ●定員:600名
人間誰しも何かに依存しますが、マイノリティの依存は特別視されがちです。本講演会では、依存症から国家とマイノリティの関係に迫ります。

●無料 ●事前申込制(先着順)



アボリジニの村の入口に立つ
飲酒規制の看板

日本の仮面をつくる ―現代に生きる神楽面〈仮〉

3・1金 ●場所:オーバルホール〈予定〉

■みんぱくウィークエンド・サロン ―研究者と話そう

●日曜日開催 14:30～(30～60分) ※都合により予定を変更することがあります。

●場所:本館展示場ナビひろば他

●要展示観覧券 ●申込不要

みんぱくの研究者が「みんぱくの展示資料」「調査している地域(国)の最新情報」「現在取り組んでいる研究」について分かりやすくお話しします。



展示や催しの最新情報は、ホームページをご覧ください。

表紙:ガンゴール祭礼用神像(イサとガンゴール)